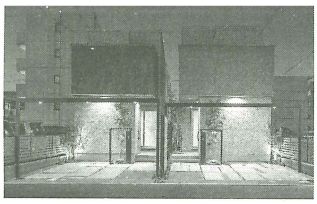
千葉県建築文化賞に入賞

ポラスガーデンヒルズ

ポラスグループのポラスガーデンヒルズ（千葉県松戸市、坂倉利昌社長）が2020年に松戸市で開発・販売した戸建て分譲住宅「唯・巧・居（いこい）の家」が、第28回千葉県建築文化賞住宅の部で入賞した。ポラスグループでの千葉県建築文化賞受賞は初めて。



「唯・巧・居（いこい）の家）」の外観

唯・巧・居の家は全4棟の販売。住宅やマンション、商業施設が密集する都市型居住空間が抱える過密化やコミュニケーション断絶といった問題の解決を目指した開発で、隣家や街との距離感をデザインし直した。

「縁庭（へりにわ）」「斜庭（はすにわ）」「路庭（みちにわ）」の個性的な3つの庭で、周囲との程よいつながりやかかわり方を生み出し、住民同士の自然なコミュニケーションを促す。同賞選考ではこうした「個の空間」と「隣地との関係性」に着目した斬新な提案が評価を受けた。

千葉県建築文化賞は、建築文化や居住環境に対する県民の意識高揚と快適な街づくり推進を目的に、一般建築物の部と住宅の部で実施されている。